

会 議 録

会議の名称	令和5年度 第6回宮崎市上下水道事業経営審議会
開催日時	令和5年12月22日（金） 午後14時00分～午後15時45分
開催場所	宮崎市上下水道局4階 大会議室（宮崎市鶴島3丁目252番地）
会長氏名	鈴木 祥広
出席者氏名 （委員）	鈴木会長、中川委員、藤崎委員（オンライン）、清家委員、時任委員、 河野委員、深野木委員（オンライン）、岩切（千）委員、肥田木委員、 清水委員、岩切（典）委員、早瀬委員（オンライン）、工藤委員、 圖師委員、佐々木委員（計15名）
欠席者氏名 （委員）	なし
事務局	下郡上下水道局長、武田管理部長、田淵水道部長、仁田脇下水道部長、 大木総務課長、高力財務課長、矢野料金課長、飯干給排水設備課長、 蛭原水道整備課長、徳永配水管理課長、山元浄水課長、 大谷営業所工務課長、川元下水道整備課長、中野下水道施設課長、 長倉財務課長補佐、徳永主幹、渡部主査、黒木主査、柳田主任主事
傍聴者	報道関係 2名
次 第	議 事 適正な料金水準について

(会議の経過)

発言者	議題・発言内容・決定事項
事務局 司会： 財務課 課長補佐	<p>ただ今より、『令和5年度 第6回宮崎市上下水道事業経営審議会』を始める。</p> <p>初めに資料の確認をさせていただく。 まず、机の上の資料である。本日の【会次第】、裏面が【経営審議会委員名簿】となっている。</p> <p>続いて、事前に送付させていただいた資料 【資料1】適正な料金水準について</p> <p>なお、別途、黄色いフラットファイルを備え付けている。こちらには「みやざき水ビジョン2020」、「経営戦略」、「事業概要」をファイルしており必要な折にご参照いただきたい。</p> <p>それでは、宮崎市上下水道局 局長がごあいさつ申し上げます。</p>
局長	<p>審議会委員の皆様にはお忙しいなかご出席いただき感謝申し上げます。 本日の会議は今年を締めくくる会議となる。前回、上下水道料金の具体的な平均改定率のシミュレーションパターンをお見せしたところであるが、本日はさらに絞り込んでいただきたいと考えている。 非常に重要な会議であり、皆様には忌憚のないご意見をいただきたい。 本日はよろしく願います。</p>
財務課 課長補佐	<p>本日の審議会には、オンラインによる参加の3名を含む、15名の委員全員にご出席いただいている。 本審議会は原則公開することとしており、本日も報道関係が傍聴している。 また、会議の資料や議論された内容については、後日上下水道局のホームページに掲載し公開することになるので、ご承知おきいただきたい。 それでは、会議に入らせていただく。 宮崎市上下水道事業経営審議会条例第5条第2項の規定に基づき会長に会議の進行をお願いする。</p>

<p>会長</p>	<p>議事を始める前にあいさつさせていただく。</p> <p>本日の議題が「適正な料金水準について」ということで、上下水道それぞれで提示されている平均改定率で具体的にどの程度上下水道料金が上がるのか、最も使用世帯が多い水量別のシミュレーションが提示されている。</p> <p>また、料金改定により水道事業の企業債残高がどのように推移するのか、下水道事業については一般会計からの繰入金がどのように推移するのかといったところも説明される。さらに、前回委員から質問のあった岡山市の状況も説明がある。</p> <p>前回の経営審議会では、生活困窮世帯への配慮を求める意見や、将来にしわ寄せが行くため料金改定はやむを得ない等の意見があった。</p> <p>私たち委員が、適正な料金のあり方について率直な意見をどんどん発言して、議論を収れんさせていきたい。</p> <p>宮崎市上下水道事業経営審議会としては、粛々と提示されたデータを基に多様な視点で市民生活に大きな影響を与えないよう、また、上下水道事業が将来にわたって維持できるよう、市民から理解が得られるような着地点を見いだしていきたいと考えているので、委員の皆さんのご協力をお願いします。</p> <p>複数の平均改定率の案から絞っていく作業となる。委員の皆様には難しいご判断になると思うが、本日の会議を実りあるものにして、最終的にはこの審議会として責任をもって答申するまでご協力をお願いします。</p> <p>それでは、早速議事に入る。 議事「適正な料金水準について」事務局から説明をお願いします。</p>
<p>財務課 課長</p>	<p>資料1「適正な料金水準について」により説明。</p>
<p>財務課 主幹</p>	<p>岡山市の水道料金の改定について説明。</p>
<p>財務課 課長</p>	<p>最後に、事務局としては、今回の審議において資料1の1ページで示した令和7年度からの上下水道料金の平均改定率について、使用者が許容できる範囲での適正な料金にあたるかどうか、もし許容できる範囲であれば、どのパターンかの平均改定率が妥当か絞り込みをお願いしたいと考えている。</p>
<p>会長</p>	<p>ただ今説明があって、4つのパターンから一つに絞ってほしいということである。その前に、委員の皆様から率直な意見をいただきたい。</p> <p>整理すると資料1の1ページ、水道については企業債を年1.5億円減らす場合の平均改定率8.91%と2億円減らす場合の9.43%、</p>

	<p>下水道では現在の汚水処理原価が1 m³あたり165円のところ現在の使用料単価が133.66円なので、155円か160円に上げた場合を検討する。</p> <p>前回の審議で汚水処理原価と同じ165円に上げるのは厳しいということだったため、今回は検討しない。</p> <p>資料2ページはお客さまアンケートの速報結果から、83%の方が負担増もやむを得ないという回答をしており、切迫した状況を市民は理解していることがわかる。</p> <p>3ページは使用者が多い口径13mmの月使用量6 m³、14 m³、18 m³、19 m³で1か月あたり上下水道料金がどれほど上がるのか示されている。当然、使用量が多いほど増加額は高い。</p> <p>4ページの最も使用者が多い月6 m³使用されている場合、増加額は259円から310円になっている。</p> <p>宮崎市で2番目に使用者が多い月14 m³では増加額が436円から513円になる。</p> <p>7ページは料金表の説明で、最終的には基本料金とそれぞれの従量料金を設定し直して料金を改定することになる。</p> <p>水道では企業債をどの程度減らしていくか、下水道は繰入金をどの程度減らしていくかがポイントである。</p>
委員	2ページのアンケートについて、回答者の年齢分布はどうなっているか。
財務課 主幹	<p>20歳代で「ア」と「イ」の負担が増えても施設整備・更新を進めるべきとの回答は48%、「ウ」の現状の負担を増やさず、できる範囲での回答が35%だった。</p> <p>20歳代の回答数は23件しかないため、正確性を測るのは難しい。</p>
財務課 課長	このアンケートは上下水道使用者からの無作為抽出となっており、世代ごとに均等になっていたかは把握していない。
会長	<p>20歳代の回答数が少ないことは間違いないだろう。</p> <p>また、20歳代の回答者の中では現状の負担を増やさないと意見が一定数あることも確か。しかし、全体では負担増もやむを得ないとする意見が多かった。</p>
委員	<p>年間では最大で1万円近い値上がりになり負担は大きいと思うが、近年、多くのものが値上がりしており、アンケートの結果を見てもやむを得ないとも思える。</p> <p>長い目を見たときにどこかにしわ寄せが行くのであれば、将来世代への負担につながる企業債を減らすことを考えるべきである。また、蓄えを増やす必要がある一方で、生活に困窮されている方への配慮をセットで考えて改定のラインを考える必要がある。</p>

会長	事務局の説明では、岡山市の水道料金の改定は、当初25.3%の平均改定率の提案を受けたが、審議会での議論を経て20.6%の平均改定率を承認していた。最終的には、市民負担を軽減するため、2年間は15.7%、次に20%とする2段階の改定ということだった。
委員	<p>前回の審議会の後でテレビのニュースを見た知人から連絡があり、値上げは困ると言っていた。しかし、施設の老朽化等を説明すると渋々納得したようだ。</p> <p>これまでの審議会を通して施設の老朽化や企業債について理解しているし、管路等の資材高騰も理解している。</p> <p>アンケートの結果でも負担増は理解をいただいているようなので、数年後に大幅な改定をするよりもなるべく平準化し、今回は高い改定率を選択し、次回の改定の際は少しでも負担を減らす方がよいのではないかな。</p>
会長	<p>ただいまの意見は、我々委員が、企業債残高が他の市より高いことや、下水道については繰入金が多く、他の用途に充当可能な税金を投入していることをこれまでの説明の中で受けてきたことを背景にしたものである。その上で、今回は高い方の改定をして将来の改定の際は改定率を抑えろとの意見だった。</p> <p>他にご意見はないか。</p>
委員	<p>現状の料金を維持するのであれば何かを諦めなければならない。市民サービスが低下したり、最悪破綻したり、若しくは一部の人に苦労をおかけしたりする場合があるので、料金改定を許容するしかないのではないかな。</p> <p>令和12年度以降はどうなるのか。</p>
財務課課長	<p>水道料金は、今後の更新需要から、更に5年後の改定率がどうしても高くなるため、10年という期間において5年間で均等に分割した場合の約9%の平均改定率として提案している。</p> <p>あくまでシミュレーションなので5年後はあらためて試算することになる。</p> <p>下水道使用料については1㎡あたりの汚水処理原価165円に近づけるため使用料単価160円を提案している。5年後には165円に向け検討が必要と考えている。</p>
委員	今回の改定の後、5年後にはさらに上がる可能性があるのか。
財務課課長	下水道については汚水処理原価に追いついていないため、5年後に汚水処理原価に近づくよう見直しの議論は避けられないと見込んでいる。
委員	上水道はどうか。
財務課課長	上水道は今回の改定率で5年間は事業費が賄えて企業債残高を減らすこともできるが、5年後はまた9%程度の改定が見込まれると試算して

	<p>いる。</p>
会長	<p>基本的には5年ごとに料金改定の必要性を検討することになっている。</p> <p>下水道は国の基準として1㎡あたりの汚水処理原価を確保するようになっているが、汚水処理原価165円のところ使用料単価は133円なので、段階的に汚水処理原価に近づけなければならない。</p> <p>今回、急激な値上げは影響が大きすぎるため、使用料単価は160円か155円で進める。</p> <p>上水道は企業債残高を年1.5億円から2億円は減らす案を検討している。</p> <p>また、日本水道協会の基準では、目安として資産維持率3%を確保すべきところ、宮崎市の場合は資産維持率3%を確保すると平均改定率3.4%程度の値上げとなるため、資産維持率は0.65%から0.7%とすることで、平均改定率の抑制につなげている。</p> <p>以上のことから資料1ページ目の平均改定率が示されている。</p>
委員	<p>アンケートの結果で8割以上が負担増を許容すると解釈できる。上下水道局として行わなければならない事業がたくさんあるため、料金改定する時期にきていると考える。</p> <p>アンケートで15%が現状の負担を増やさないよう回答しているため、何らかの配慮が必要ではないか。</p> <p>難しい問題だが、将来に向かって今のタイミングで改定すべきと考える。</p>
委員	<p>料金改定は必要と考えている。アンケートの結果から料金改定の必要性は伝わっていると思う。料金改定の必要性を市民に訴えていけば理解が得られるのではないかと。5月に水道管の破裂があったこともあり、市民は料金改定の必要性を理解していると思う。</p>
委員	<p>上下水道料金は市民の料金というより、使用者の料金である。</p> <p>県外からの単身赴任等で宮崎市に住民票を置いてない方は住民税を払っていない。例えば税金を投入して安い上下水道料金とした場合はそのような方は得をしていることになる。</p> <p>公共経済学ではフリーライダー（公共財の対価を払わずに利益を受ける者）の存在がある。</p> <p>資料1ページで6つの改定案のうち負担の大きい2つが消えている。残っている案のうち高い案を受入れざるを得ないと考える。</p> <p>アンケートで現状の負担を増やさない対応を求める回答があったが、アナウンスが足りないのではないかと。広報に努めていただきたい。</p>
委員	<p>アンケートの結果、「ア. 現状より負担が増えても、」と「イ. 現状よ</p>

	り負担が多少増えても、」が83%を占めるが、資料1ページの水道の改定率9.43%が「ア」に相当し、8.91%が「イ」に相当するのではないか。
会長	事務局は今の委員の発言の意図をもってアンケートの設問を作っていたのか。
財務課課長	設問の「ア」と「イ」で改定率を測るような意図では作っていない。老朽化対策等の事業を早急に実施すべきか、徐々に進めるのかのご意見がどの程度なのかを把握するための設問である。
委員	アンケートの結果を踏まえると、当初の意図とは違うかもしれないが、「イ. 現状より負担が多少増えても、」が48%の回答なので、改定率8.91%を支持していると考えていいのではないか。下水道が目指す1m ³ あたりの使用料単価は汚水処理原価相当の165円でなく、160円でよいのではないか。
会長	ただ今の意見を踏まえて、平均改定率について事務局はどう考えているのか。
局長	<p>先月、国の「デフレ完全脱却のための総合経済対策」が閣議決定された。これにより電気料金高騰対策として交付金が自治体に交付される。その中で、重点支援地方交付金を上下水道事業に活用するよう厚生労働省や国土交通省から通知が来ている。そこで、市財政当局と協議をしている。</p> <p>水道料金の平均改定率は8.91%か9.43%のうち、局としては9.43%で進めたいと考えているが、これまでの審議会のご意見を踏まえ、生活困窮者の負担軽減等も含め検討を続けており、国の交付金により平均改定率を0.2%は下げられると考えている。さらに局としても経営努力は必要と考えている。</p> <p>これにより水道料金の平均改定率を9.0%とし、下水道については1m³あたりの使用料単価160円にすることで一般会計からの繰入金が増えるようになり、福祉や教育等に財源を充てることができるようになるため160円で進めたい。上下水道料金のトータルの平均改定率13.5%程度を考えている。</p> <p>水道の平均改定率8.91%にできないのは将来やらなければならない生目台送水管更新等の事業があり、さらに今後はGX、カーボンニュートラルの取組みが求められる中で、財政に余裕をもたせないと将来事業の実施が困難になることが想定されるためである。企業債残高を年2億円削減して投資に対する余力を確保する必要があると考えている。</p> <p>このことから国の交付金と経営努力により水道料金の平均改定率を9.0%とし、下水道については1m³あたりの使用料単価160円で進めたいと考えている。</p>

<p>会長</p>	<p>資料にはないが、水道事業については国からの交付金が得られそうだと いうことと経営努力により、平均改定率9.0%とすることが事務局 の案とのことである。企業債残高を少しでも削減して、将来に備えたい との考えから9.43%を基にした平均改定率9.0%の提案である。 下水道については使用料単価160円にすることが共通の意見であ る。 会長としては妥当な提案であり、審議会として次の世代に対する責任 も持てると考える。 また、8.91%に近いことでアンケートの回答結果にも対応できる。 水道料金の平均改定率を9.0%とし、下水道については使用料単価 160円で進めたい。</p>
<p>委員</p>	<p>局長の提案は妥当と考える。 前回の審議会で月3万円で食費を賄っている困窮世帯があり、月1, 000円の値上げは1日分の食費がなくなると発言した。 資料の5ページで改定の見込額が示されており、月14m³使った場合 に最も高い改定率の場合でも増加額が513円なので、この程度なら許 容されると考える。</p>
<p>会長</p>	<p>それでは、水道料金の平均改定率を9.0%とし、下水道については 1m³あたりの下水道使用料単価160円に見合う改定率とすることを審 議会としての結論としてよろしいか。 [委員了解] その他、全体を通してご意見やご質問等はないか。 他にないようなので、これで議事を終了する。</p>
<p>財務課 課長補佐</p>	<p>会長には、会議の進行について感謝申し上げます。 次回の会議開催の日程は1月26日（金）14時の開催を予定してい る。別途文書にて案内するが、皆様方には、日程の調整をお願いする。 それでは、以上で令和5年度第6回宮崎市上下水道事業経営審議会を 終了する。</p>